

令和4年度日米共同統合演習（実動演習）『キーン・ソード23』の支援

自衛隊と米軍による令和4年度日米共同統合演習（実動演習）『キーン・ソード23』が、令和4年11月10日から19日まで、自衛隊施設、在日米軍施設、津多羅島、奄美大島、徳之島及び我が国周辺海空域などで実施されました。

本訓練は、強固な日米同盟の下、日米双方が主要装備品を使用した演習を行う中で、日米の即応態勢を確認し、相互運用性を向上させるものです。自衛隊と米軍は力による一方的な現状変更の試みは断じて許さないという強い意志のもと、あらゆる事態に対応するための抑止力・対処力を強化し、我が国の防衛及び地域の平和の安全の確保に寄与していくという考えから実施されたものであり、自衛隊からは人員約26,000名、艦艇約20隻、航空機約250機、米軍からは人員約10,000名、艦艇約10隻、航空機約120機がそれぞれ参加しました。

同訓練の実施に当たり、九州防衛局は、陸上自衛隊奄美駐屯地内をはじめとする訓練実施地域に職員を派遣し、関係自治体等に訓練に関する情報提供などを行いました。

九州防衛局としては、訓練の実施に当たっては、地元自治体、周辺住民の方々の御理解と御協力が不可欠であると考えており、今後とも地元自治体、周辺住民等の方々の不安や懸念を解消すべく適切な情報提供等を行うなど誠心誠意努力してまいります。



